

令和7年度包括連携協定に基づく協働事業実績一覧表

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
1	あいおいニッセイ同和	小学生向けセーフティ教室	児童を対象としたセーフティ教室を実施するにあたり講師を派遣していただいた。	令和7年6月14日	防災の心構えを学ぶワークショップを実施した。 参加児童：若葉台小学校の全学年	若葉台小学校
2	あいおいニッセイ同和	学校管理職向け研修会への講師派遣	市立小・中学校の校長先生を対象としたハラスメント研修に講師を派遣していただいた。	令和7年8月4日	市立小・中学校の校長先生を対象としたハラスメント研修を実施した。 受講者：24名	指導課
3	あいおいニッセイ同和	未来の学校管理職候補者向け研修会への講師派遣	未来の学校管理職候補者を対象としたリーダー研修に講師を派遣していただいた。	令和7年10月6日	未来の学校管理職候補者を対象とした学校組織・チームづくり研修を実施した。 受講者：12名	指導課
4	あいおいニッセイ同和	ハラスメント防止研修の実施	職員向けに、ハラスメントの6類型からグレーゾーンパワハラなどをグループワークも交えつつ学べる研修を実施していただいた。	令和7年12月17日	令和7年度係長職昇任者及び令和6年度と同研修未受講者が、改めてハラスメントの6類型やグレーゾーンを学ぶことで、ハラスメントの防止につながった。 研修受講者：41名	人事課
5	あいおいニッセイ同和	交通安全指導	園児に対する交通安全を学ぶ講義を実施していただいた。 対象保育園：①羽衣保育園 ②上砂保育園 ③西立川保育園	①令和8年2月6日 ②令和8年2月9日 ③令和8年1月30日	シミュレーター体験で横断歩道を横断中、死角となりやすい停止車両の脇から現れるバイクや自転車などリアルな危険を通して、危険予測・安全確認をすることの重要性を学ぶことができた。 各園；園児15名、職員2名程度	保育課
6	IKEA立川	環境啓発商品等の展示	クリーンセンター見学者ルートに環境啓発商品等の展示や取組事業等を紹介していただいた。	令和7年4月～11月	サステナブルな暮らしの実現についての啓発に繋がった。 自由見学者数：3,636人（令和7年4月～11月） 団体見学者数：1,094人（団体数は30団体）（令和7年4月～11月）	クリーンセンター

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
7	IKEA立川	環境学習	暮らしで身近にある商品に触れながら環境に配慮した消費行動を学ぶ環境学習を実施していただいた。	令和8年2月7日	環境への関心が高まる機会につながった。また、事業者のノウハウ等を生かして質の高い行政サービスの提供につながった。 参加者：23組55名	環境対策課 企画政策課
8	国立音楽大学	立川市立中学校音楽鑑賞教室	日頃の音楽活動の中で学んでいる生のオーケストラ演奏等を鑑賞させることで、より一層進んで聴こうとする意欲を高め、積極的な鑑賞の態度や能力を育てる。市内全中学校2年生を対象として、Aオケ（音大3・4年生）による演奏の鑑賞を実施。	令和7年5月13日	国立音楽大学の学生等によるオーケストラの生演奏の機会を設けることで、生徒の鑑賞意欲や能力を高めることができた。	指導課
9	国立音楽大学	吹奏楽部楽器別研修会	吹奏楽部の部員への楽器の演奏指導。謝金は、部費より支払い。	令和7年6月から令和8年3月	学期別講習会を通して、基礎から丁寧に教えていただき、個々の技術の向上につながった。また、みんなで演奏することで、達成感をもつことができた。	若葉台小学校
10	国立音楽大学	期日前投票所立会人	若年層の投票率低迷の改善のため、主権者教育の一つの手法として、学生への投票所や期日前投票所の立会人の依頼。 【立会人報酬】1日1人 16,000円	令和7年6月14日～ 令和7年6月21日	学生に実際の投票所で一日立会人をしてもらうことで、選挙に興味を持つきっかけになっている。	選挙管理委員会事務局
11	国立音楽大学	クラシック音楽入門講座(市民企画講座)	毎回異なる作曲家の一曲を題材とした解説講座を行い、クラシック音楽に親しむ市民を増やす。一部の回では、学生等による生演奏もお願いする。 【平成22年度～】	①令和7年7月5日 ②令和7年8月2日 ③令和7年9月6日 ④令和7年10月18日	毎回異なる国立音大の先生が講座を提供してくれる。先生によっては、実際の授業に近い内容と思われるものもあり、クラシック音楽の知識の豊富な方にも楽しめる。	生涯学習推進センター (市民交流大学係)
12	国立音楽大学	Musical Space Fantasy（ミュージカルスペースファンタジー）～セロ弾きのゴーシュと仲間たち～	宮澤賢治作『セロ弾きのゴーシュと仲間たち』の物語の中で、音楽や楽器と一緒に楽しむ。	令和7年7月12日	普段は身近にない楽器（チェロ・ウィンドチャイム・トーンチャイム等）を見て触れて、楽器の音そのものや演奏や合唱を聞く貴重な機会となった。4際～80代まで幅広い年代の方々が参加され、音楽を通じた温かい雰囲気の中で、皆が楽しめる交流の時間となった。	生涯学習推進センター (砂川学習館係)

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
13	国立音楽大学	サマーイベント	子どものための音楽会。楽器体験と音楽鑑賞のプログラム。	令和7年8月5日	音楽劇の鑑賞やハンドベルの演奏体験、音楽にあわせて体を動かすことを通じて、学生への親近感と音楽等への関心が深まった。	生涯学習推進センター (西砂学習館)
14	国立音楽大学	シルバー大学「シャンソン」	60歳以上の高齢者を対象にシャンソンの講座を開講する。	令和7年9月～令和8年3月 第1・3月曜日 14:00～15:30 全14回	シルバー大学の講師を国立音楽大学関係者が務めることにより、地元大学と市との親近感が更に深まった。	福祉総務課
15	国立音楽大学	柴崎福祉会館コンサート	60歳以上の高齢者及びその家族等を対象に、室内楽や歌に親しんでもらう。	令和7年9月15日	音大生によるコンサートを身近に楽しむことができ、来場者たちには大変好評だった。	福祉総務課
16	国立音楽大学・立飛ホールディングス	国立音楽大学プラスオルケスター スペシャル・コンサート	国立音楽大学、株式会社立飛ホールディングス、立川市が主催となり、地域貢献事業として無料の招待講演を開催する。市は、公演の周知協力を行う。	令和7年9月20日	市民等が無料でオーケストラ音楽にふれることのできる機会を創出し、地域の活性化に寄与した。	企画政策課
17	国立音楽大学	合唱コンクール パート別練習	大学生・研究生による合唱パート別指導。	令和7年10月	パート練習の時の指導助言により、歌唱技術を向上させることが出来た。	立川第五中学校
18	国立音楽大学	中学生の主張大会	①個人審査会：発表者等の選考 ②中学生の主張大会：大会当日の審査	①令和7年10月9日 ②令和7年11月3日	外部審査員として、審査の公平性を重視した観点で審査を行っていただいた。	子ども育成課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
19	国立音楽大学	生演奏で楽しもう！ ジャズの魅力	国立音大学生を講師にしたジャズの歴史や曲目解説と演奏。	令和7年11月30日	生で聞ける若さ溢れる演奏が参加者に好評だった。	錦図書館
20	国立音楽大学	クラシック音楽レクチャーコンサート(市民企画講座)	コンサート楽曲の簡単な解説とともに国立音大学生のコンサートを鑑賞。 【平成22年度～】	令和7年12月21日	レクチャーと音楽があって分かりやすく楽しい。国立音大側からも、国立音大学の学生がお客様に演奏するという機会の提供に対してのお礼が届いている。	生涯学習推進センター (市民交流大学係)
21	国立音楽大学	マイナンバーカード利用方法説明	社会生活に有用なマイナンバーカードの利活用の促進のため、住所異動（転出・転入）時のカード利用方法の案内チラシを校内チラシ棚で配布した。	令和7年12月下旬	住所異動（転出）時にマイナンバーカードを利用すれば窓口来庁なしで手続きができることを周知できた。	戸籍住民課
22	国立音楽大学	高老連クリスマスコンサート	高松町の老人クラブ会員及びその家族等を対象に、室内楽や歌に親しんでもらう。	令和8年12月20日	音大生によるコンサートを身近に楽しむことができ、来場者たちには大変好評だった。	福祉総務課
23	国立音楽大学	二十歳を祝うつどい	記念式典での国歌及びお祝いの歌の歌唱 ※実行委員会で内容検討後に音大側に推薦を依頼。	令和8年1月12日	経験と実績のある素晴らしい歌声で、会場の新成人を魅了した。 式典プログラムに出演者プロフィールを掲載し、大学の広報に寄与した。	子ども育成課
24	国立音楽大学	一番福祉会館新春コンサート	60歳以上の高齢者及びその家族等を対象に、室内楽や歌に親しんでもらう。	令和8年1月31日	音大生によるコンサートを身近に楽しむことができ、来場者たちには大変好評だった。	福祉総務課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
25	国立音楽大学	学習支援員	通年で、応募学生(随時面接の上、採用)による学習指導補助。	通年（随時）	学習支援により学習習慣の確立と学習意欲を向上させることが出来た。	立川第五中学校
26	国立音楽大学	アイムホールコンサート	立川駅直近の施設で、地域住民等に生の演奏を楽しんでいただくとともに、音大の魅力をアピールする機会の一つとする。 また、音大生がコンサートを実施するための支援も行う。	通年（随時）	市民へ学生のフレッシュな演奏を提供できる。 学生にはコンサートを実施するためのマネジメントを提供する。 開催回数：7回	地域文化振興財団
27	国立音楽大学	水曜コンサート	毎月1回、12:20～12:50に実施しているロビーコンサート。	令和7年5～6月の水曜日	音大の魅力をPRできるとともに、来場者へ良質の演奏を提供できた。 連携事業としての開催回数：2回	地域文化振興財団
28	国立音楽大学	小学校吹奏楽クリニック	小学校の吹奏楽部やクラブを指導することで吹奏楽の振興を図る。	令和7年7月～3月	小学生が演奏方法から楽器の手入れ等、吹奏楽について専門の学生から直接指導を受けられる機会である。 実施回数：4回	地域文化振興財団
29	国立音楽大学	国立音楽大学コンサート	音大と立川市の連携協力に関する協定を記念して実施。国立音大の先生や関係者が企画・出演し解説付きの室内楽コンサートを開催。	令和8年3月28日	立川市と音大との連携協定についてPRできる。市民に安価で良質な演奏を提供できる。	地域文化振興財団
30	国立音楽大学	校舎見学＆コンサート	楽器学資料館を学芸員による解説付き見学後、講堂での公演に招待。	令和7年11月～12月頃	市民に貴重な楽器を解説付きで案内していただき、学生による良質な音楽を鑑賞できる機会を提供いただいた。	地域文化振興財団

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
31	国立音楽大学	音大関連広報	チラシの配布協力を随時実施。	—	連携協定による立川市と音大の協力関係を深めることとなった。	地域文化課
32	国立音楽大学	連絡協議会幹事会	上半期（7月下旬）に事務局会議を国立音楽大学で、下半期（2月上旬）に幹事会を立川市役所で、開催。	①事務局会議：7月 ②幹事会：2月	連携協定による立川市と音大の協力関係を深めることとなった。	地域文化課
33	統計数理研究所	子ども見学デー2025の周知協力。	子ども見学デー2025の周知について協力した。	令和7年10月～11月	イベントの周知協力により連携体制を円滑にすることができた。 ポスター掲示、記者クラブチラシ配布、HPイベント掲載：各1回	企画政策課
34	中央大学	少年健全育成市民運動推進大会ボランティアスタッフの派遣	少年健全育成市民運動推進大会の開催にあたり、入場受付や会場整理など当日に従事するボランティアスタッフを派遣していただいた。	令和7年6月14日	イベントに活気が出た。庁内応援職員の負担軽減につながった。 ボランティア参加者数：2名	子ども育成課
35	中央大学	プール監視員	プール実施時において、園児の監視を行い、安全確保を行った。	プール実施時期（夏：6月下旬～9月上旬頃）	高松保育園、中砂保育園にて応募があり、6月下旬～9月上旬にてプール監視員（時給制会計年度任用職員）として勤務した。	保育課
36	中央大学	二十歳を祝うつどいボランティアスタッフの派遣	二十歳を祝うつどいの開催にあたり、入場受付や会場整理など当日に従事するボランティアスタッフを派遣していただいた。	令和8年1月12日	イベントに活気が出た。地域の人材不足対策や庁内応援職員の負担軽減につながった。 ボランティア参加者数：2名	子ども育成課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
37	中央大学	学生の派遣	中学校の部活動（陸上部）を指導していただいた。	通年	・顧問教員の負担軽減につながった。 ・競技経験のない部に配属された顧問教員の負担軽減につながった。 ・生徒が専門的な指導を受けられるようになった。 派遣回数：7名のべ34回	指導課
38	東京海上日動	SDG s セミナー	庁内研修としてSDG s セミナーを開催した際に、講師や研修スタッフを派遣していただいた。	令和7年11月13日	従来から研修項目として取り組むべき課題であったSDG s について、外部講師を無償で派遣していただいた上で、職員の理解度向上が図れた。 研修受講者：58名	企画政策課
39	日本栄養大学	学校給食運営審議会への参画	学校給食費の改定にあたり、様々な立場の委員の意見を聞き、それに対して専門家としてのアドバイスをを行いながら審議会の意見をまとめた。	年間2回	専門家としての立場から説得力のあるアドバイスをしていただいた。 教授：1名	学校給食課
40	日本栄養大学	講師派遣	管理栄養士の実習生に対する事前講義の講師・事後の報告会の講師を行った。	年間4回	実習施設の担当者が講師として実習生に対して実践に即した講義を行ったり、助言を行った。	学校給食課
41	日本栄養大学	管理栄養士実習生	女子栄養大学の管理栄養士実習生の受け入れを行った。（1期間は約2週間）	令和7年9月～10月 2回	給食提供施設を見ることにより、実習生が管理栄養士として必要な力を理解することにつながった。 受入学生数：10名	学校給食課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
42	日本栄養大学	調理場見学・視察	学生や海外からの視察団に対する見学の受け入れを行った。	年間3回	受入数：24名	学校給食課
43	日本栄養大学	共同研究	学校給食課での取り組みを共同研究して日本給食経営管理学会にて発表を行った。	年間1回	研究を行うことにより、普段では分析したり考察したりしない残量についての研究を行った。 准教授；1名	学校給食課
44	日本栄養大学	立川市栄養連絡会	立川市第6次地域保健医療計画（食育推進計画）に基づく食育の推進と連携を行った。	①令和7年6月9日 ②令和7年10月20日 ③令和8年2月9日	専門的見地から指導及び助言していただいた。 参加者数：3日間 計22名	健康推進課
45	日本栄養大学	環境フェス 2025 inたちむにい	地産地消および食品ロスについて、ポスター展示とクイズを行った。	令和7年11月30日	参加者に楽しく知識を深めてもらうことができた。 イベント来場者数:約2000人	環境政策課
46	日本栄養大学	一般健康教室 大人の口・食育講座 「ウェル噛む（かむ） #噛み活 はじめませんか？」	適切な栄養摂取及び口腔機能の維持により、健康寿命の延伸を目指す	令和8年2月4日と 令和8年2月18日（2日間）	専門的見地からの指導・助言 参加者数：計14名	健康推進課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
47	日本郵便	持続可能な権利擁護支援モデル検討委員会委員としての参画	金銭管理・意思決定支援事業のスキーム等の構築のための検討委員会に参画し、日常的な金銭管理支援サービスを行う事業者として協力していただいた。	①令和7年6月26日 ②令和7年9月25日 ③令和7年12月25日 ④令和8年2月20日	郵便局での窓口業務の実態を踏まえ、実現可能な制度となるように意見や提案をいただくことによって、実現可能な事業に近づいた。	高齢政策課
48	日本郵便	ひと涼みスポット協力	熱中症対策として、市内事業所でひと涼みスポットの協力。	令和7年6月16日 ～9月30日	ポスターの掲示・スポット登録など事業に協力していただいた。 実施局：17局	健康推進課
49	日本郵便	講座情報誌「きらり・たちかわ」（年4回発行）の市内の各郵便局で配架	講座情報誌「きらり・たちかわ」（年4回発行）を市内の各郵便局で配架した。	vol.72 令和7年6月中旬 vol.73 令和7年9月中旬 vol.74 令和7年12月中旬 vol.75 令和8年3月1月中旬	市内18箇所の郵便局に各10部（本局のみ20部）、計190部のきらり・たちかわを、4回分配架した。市民がきらり・たちかわを手にする機会が増え、情報提供に繋がった。 配架部数：計190部×4回	生涯学習推進センター
50	日本郵便	リーフレットを市内の郵便局で配架	高松郵便局、ファール郵便局	令和8年1月	市民への効果的な情報提供に繋がった。	くらし相談課
51	日本郵便	チラシの配架	第24回くらしフェスタ立川（くらしに関する様々な情報を提供するイベント）のチラシを配架していただいた。	令和8年2月7日～8日	市民への効果的な情報提供に繋がった。	くらし相談課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
52	日本郵便	郵便ポスト防災情報貼付	市の防災情報などを取得できるQRコード付きの案内シールを市内にある郵便ポストへ貼付けを行った。また、立川崖線より南側の郵便ポストについては、想定浸水水表示盤も貼付けを行った。	通年 (開始：令和5年4月～)	災害時に情報を取得するための手段や初めて当市へ訪れた方が情報収集する支援を行った。 想定浸水深表示盤を貼付けすることで、災害リスクを見える化し、災害リスクがあることを認識することに役立った。 市の情報シール：107か所 想定浸水深表示盤：6か所	防災課
53	日本郵便	郵便車両貼付サギカモステッカー	郵便車両にサギカモステッカーを貼付することで特殊詐欺被害防止の啓発を実施した。	通年 (開始：令和5年5月～)	街中でよく見る郵便車両にサギカモステッカーを貼付することで特殊詐欺被害防止の啓発に繋がった。	危機管理課
54	日本郵便	特殊詐欺啓発ポスター掲示協力	市内郵便局に特殊詐欺啓発ポスターを掲示することで特殊詐欺被害防止の啓発を実施した。	通年 (開始：令和7年2月～)	郵便局内に特殊詐欺啓発ポスターを掲示することで特殊詐欺被害防止の啓発に繋がった。	危機管理課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
55	野村不動産ライフ＆スポーツ	体操レクチャー、健康測定器具の貸し出し	地区健康フェアで体操レクチャーをしていただき、健康測定器具の貸し出しを受けた。 ※「立川市民の健康づくりの推進、生涯にわたる健康づくり、及び生活習慣病の発症予防に向けた事業の連携に関する協定書」に基づく事業でもある。	①令和7年6月8日 ②令和7年10月26日 ③令和7年11月1日	3地区の地区健康フェアで体操レクチャー及び体組成組織測定を行った。体験コーナーの1増、従事する自治会スタッフの負担軽減につながった。 ①令和7年6月8日：羽衣健康フェア ②令和7年10月26日：若葉健康フェア ③令和7年11月1日：柴崎健康フェア （参考）三地区の健康フェア参加者数約432人	健康推進課
56	野村不動産ライフ＆スポーツ	着衣泳の指導	小学校の着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象小学校：第一小学校	令和7年7月23日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加児童数：144名	指導課
57	野村不動産ライフ＆スポーツ	着衣泳の指導	小学校の着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象小学校：第四小学校	令和7年7月18日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加児童数：101名	指導課
58	野村不動産ライフ＆スポーツ	着衣泳の指導	小学校の着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象小学校：南砂小学校	令和7年7月17日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加児童数：53名	指導課
59	野村不動産ライフ＆スポーツ	園児、もしくは保育士への指導	4.5歳児対象にプール指導を行う。楽しく水に慣れながら、体を浮かせることに向けての指導をしていただいた。 対象保育園：①高松保育園 ②上砂保育園	①令和7年7月18日 ②令和7年7月24日	楽しみながら水に慣れていけるような遊びのバリエーションを多く教わり、その後のプール指導に活かすことができた。 園児16名、職員2名	保育課
60	野村不動産ライフ＆スポーツ	ベビーミライク体験会	メガロス立川の「ベビーミライク」を体験してもらうことにより、父親の子育て参加を促す目的で、家庭でも取り組みやすい運動や遊びを体験していただいた。	令和7年10月12日	子どもの運動習慣をつくり、親子のスキンシップを図る機会を増やすきっかけにもなった。 参加者数：第1部）8組23名、第2部）9組25組 参加率85%（組単位）、満足度：81.3%	男女平等推進課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
61	野村不動産ライフ＆スポーツ	講座の講師派遣	健康づくり推進員企画講座講師をしていただいた。 ※「立川市民の健康づくりの推進、生涯にわたる健康づくり、及び生活習慣病の発症予防に向けた事業の連携に関する協定書」に基づく事業でもある。	①令和7年10月15日 ②令和7年3月2日	健康づくり推進員の活動促進、市民の健康増進につながった。 ①令和7年10月15日：フレイル認知症予防講座 参加者数10人 ②令和7年3月2日：お腹スッキリ！体操 参加者数17人	健康推進課
62	明治安田生命	チラシの配布	事業の広報チラシを配布していただいた。 イベント名称：未来の大人たちへのスペシャル・コンサート～国立音楽大学プラスオルケスター 立川で奏でる心躍るハーモニー～	令和7年8月～9月	事業周知につながり、イベントに賑わいを創出することができた。	企画政策課
63	明治安田生命	講座情報誌「きらり・たちかわ」（年4回発行）の配布	講座情報誌「きらり・たちかわ」（年4回発行）を明治安田生命立川駅前営業部で配架した。	vol.72 令和7年6月中旬 vol.73 令和7年9月中旬 vol.74 令和7年12月中旬 vol.75 令和8年3月1中旬	明治安田生命立川駅前営業部に20部を4回分配架した。 市民がきらり・たちかわを手にする機会が増え、情報提供に繋がった。 配付部数：20部×4回	生涯学習推進センター
64	明治安田生命	西砂地区健康フェア	西砂地区健康フェア参加者に対して「ベジチェック」測定を実施した。	令和7年9月21日	健康状態を数値で確認することで自身の健康課題を理解し、健康管理への意識を向上させる動機づけ支援となった。会場には栄養相談コーナーがあり、参加者ニーズに合わせて必要時食事指導などにつなげることができた。 （参考）西砂地区健康フェア参加者数200人	健康推進課
65	明星大学	地域クラブ活動支援	市内の生徒が参加できるeスポーツクラブの開催に向けて規約の整備等の準備を進めた。	令和7年6～令和8年3月	市内の生徒が参加できるeスポーツクラブの開催に向けた準備を進めることができた。 明星大学：学生2名、担当者2名	指導課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果	部署名
66	明星大学	ヤングケアラーへの理解を深めるための小中学生向けマンガの作成	ヤングケアラーへの理解を深めるための小中学生向けマンガを作成いただいた。	令和7年6月～令和8年2月	令和7年2月1日にプレスリリースし、漫画4編を公開（児童生徒の端末、たちかわ電子図書館）した。ヤングケアラーについて漫画で児童生徒等へ周知することができた。 明星大学：学生4名、担当者2名	指導課
67	明星大学	立川市環境フェス2025inたちむに啓発事業	・「環境フェス 2025 inたちむに」に関する内容の企画や調整 ・「環境フェス 2025 inたちむに」への出展協力 ・「環境フェス 2025 inたちむに」を実施する際のチラシ等の作成および市への提供	令和7年7月10日～令和8年3月31日 ※「環境フェス 2025 inたちむに」は令和7年11月30日に開催	「環境フェス 2025 inたちむに」には、約2,000人の方が来場され、日常生活の中での取り組み等を通じて、持続可能な社会を作っていくライフスタイルへのきっかけとなるようなイベントとなった。 チラシについては目につきやすくメッセージが伝わりやすいデザインにしたことで、多くの方に参加して頂けた。 イベント当日は、司会進行等の協力をお願いし、円滑に進行することが出来た。 イベント来場者数:約2000人	環境政策課 クリーンセンター
68	明星大学	喫煙対策に関する啓発物のデザイン製作	喫煙対策事業啓発物のデザイン作成 (路面標示シート・ティッシュ・旗・横断幕等)	令和6年10月～令和7年6月	目につきやすいデザインで喫煙対策について周知を図ることができた。 路面標示シート：110枚張替 ティッシュ：10,720個配布 横断幕：6か所設置	環境政策課